

こんなところにも！ 日本全国 信楽焼マップ

信楽焼は、さまざまな場所で使われています。何気なく見ていた建物や作品も実は信楽焼かもしれません。ここでは、日本全国で活躍する信楽焼の一部を紹介します。

岡本太郎
「太陽の塔（黒い太陽）」

万博記念公園

大阪府



裏側

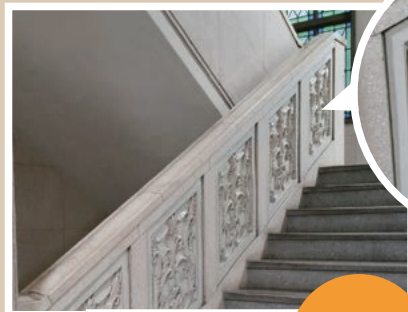
裏面の黒い太陽に
信楽焼のタイルが
使われています。



徳島県

大塚国際美術館

陶板で「システィーナ礼拝堂
天井画」完全再現
他にも西洋名画を陶板で原寸大に再現



アカンサス紋
レリーフタイル

滋賀県庁本館

※レリーフ…浮き彫り

滋賀県



国会議事堂中央塔

屋根部分のテラコッタ

※テラコッタ…素焼きの焼き物

東京都



岡本太郎「手」「足」他
国立代々木競技場
陶板レリーフ

東京都



▲信楽焼の茶碗で白米を頬張る園児ら

甲賀市

産地ならではの取り組み

朝宮保育園（信楽）では、園児に信楽焼に親しんでもらおうと、給食で信楽焼の茶碗を使用しています。



オレンジためき

BEAMS JAPAN
ビームス ジャパン

東京都

私が見学
してきました



地域おこし協力隊
横山絵理さん

信楽窯業技術試験場
たかはたひろあき
高畑宏亮さん

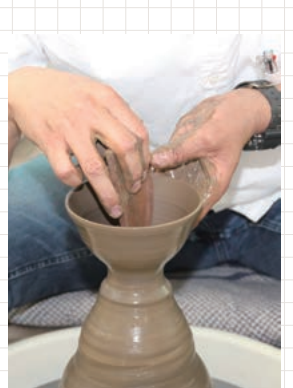
信楽焼ができるまで

信楽焼は、多くの時間と手間をかけて作られています。信楽窯業技術試験場の高畑宏亮さんに信楽焼が作られる工程を案内していただきました。



1. 成形

口ワロ、手びねりなど、いろいろな方法で形を作ります。



2. 乾燥・削り

成形直後は、水分を多く含んで柔らかいため、ある程度乾燥させてから削って高台を作ります。



3. 乾燥・素焼き

よく乾燥させてから約700℃、800度で素焼きします。



乾燥
2~3日
素焼き
1日

4. 薬掛け・絵付け

釉薬をかけます。



5. 窯詰め・焼成

窯に器を詰めて、1200度以上の温度で焼きます。できるだけ隙間なく詰めることで、温度が安定します。



焼成
2~3日

完成



完成まで
1週間以上

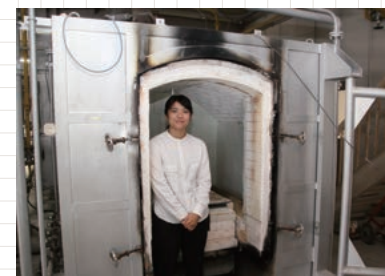
窯業試験場にある最も小さなガス窯で、茶碗が約70個入ります。

大きな窯
茶碗 約2000個



窯をいっぱいにするのにも時間がかかるんだね

小さな窯
茶碗 約200個



成形から完成までの間に、小さくなります。急に乾燥させたり温度を上げたりすると割れてしまうため、乾燥や焼成はじっくり時間をかけて行います。



完成

成形

約15%も小さくなるんだって



全国各地で活躍する信楽焼は他にもあります。ぜひ探してみてください。